

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 {  第12条第1項  第30条第1項 } の規定により、  
許可を申請します。

令和8年4月1日

久留米市長 殿

申請者 氏名 (株) シヤクシヨ 代表取締役 久留米 太郎

1	工事主	住所 氏名	久留米市城南町15番地3 (株) シヤクシヨ 代表取締役 久留米 太郎		
	(法人役員)	住所 氏名	別紙役員一覧参照		
2	設計者	住所 氏名	久留米市合川町2190番地3 久留米 三郎		
3	工事施行者	住所 氏名	久留米市野中町621番地18 (株) くるめ 代表取締役 久留米 次郎		
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	久留米市城南町15番3、15番5 (緯度： 33° 19' 21.3 、経度： 130° 30' 21.1 )			
5	土地の面積	12,000.00 平方メートル			
6	工事着手前の土地利用状況	空き地			
7	工事完了後の土地利用	建築物 (工業・事業用地)			
8	盛土のタイプ	<input type="radio"/> 平地盛土 ・ <input type="radio"/> 腹付け盛土 ・ <input type="radio"/> 谷埋め盛土			
9	土地の地形	溪流等への該当 無			
10 工 事 の 概 要	イ 盛土又は切土の高さ	5.00 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	450.00 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	1,000.00		立方メートル
		切土	10.00		立方メートル
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		1	RC造L型	5.00 メートル	10.00 メートル
2		練積み造擁壁	2.00 メートル	10.00 メートル	
ホ 崖面崩壊防止施設	番号	構造	高さ	延長	
	1	大型かご枠工	2.00 メートル	20.00 メートル	

記入不要

- ① 第12条は宅地造成等工事規制区域、第30条は特定盛土等規制区域での工事です。
- ② 工事主が申請者で、申請書の下段の注意書きのとおりです。
- ③ 申請書の下段の注意書きのとおりです。
- ④ 申請書の下段の注意書きのとおりです。  
役員が複数名いる場合は「別紙役員一覧参照」と記入し、別紙（任意様式）を添付してください。
- ⑤ 申請書の下段の注意書きのとおりです。  
設計者の資格が必要な工事とは、次のいずれかに該当するものです。  
・高さが5メートルを超える擁壁の設置  
・盛土又は切土をする土地の面積が1,500㎡を超える土地における排水施設の設置
- ⑥ 未定のときは「未定」と記入し、申請書の下段の注意書きのとおりです。
- ⑦ 土地の登記事項証明書に記載された所在・地番とし、当該地番全てを記入してください。
- ⑧ 緯度と経度は、世界測地系※に換算し、小数点以下第1位まで記入してください。  
「〇度△分□秒◇」「〇° △′ □.◇」どちらの表記でも構いません。  
※「世界測地系」は、国土地理院HPの測量計算サイト（世界測地系座標変換）等で確認できます。
- ⑨ (共通事項) 高さや面積等は、小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで記入してください。
- ⑩ (着手前・着手後共通) 次の区分にならって記入してください。  
建築物（住家）、建築物（工業・事業用地）、太陽光発電設備、  
レジャー施設（建築物を伴わない）、資材等置き場、駐車場・駐輪場、  
農地（田畑）・採草放牧地、農業用施設（畜舎、温室、用排水路等）、  
残土処分場、その他（具体的な用途を記入）
- ⑪ 平地盛土：勾配1/10以下の平坦地において行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの  
腹付け盛土：勾配1/10超の傾斜地盤上において行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの  
谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土
- ⑫ 申請書の下段の注意書きのとおりです。  
溪流等：溪床勾配10度以上の勾配を呈し、0次谷を含む一連の谷地形の底部の中心線  
(上端は谷地形の最上部まで含む) からの距離が両側25m以内の範囲

	番号	種類	内法寸法	延長
へ 排水施設	1	U型側溝	30.00 センチメートル	20.50 センチメートル
	2	集水桝	30.00 センチメートル	3.00 箇所
	3	雨水桝	20.00 センチメートル	3.00 箇所
ト 崖面の保護の方法	擁壁及び大型かご砕工の設置			
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	芝張 崖とは班単方向に排水勾配を設定			
リ 工事中の危険防止のための措置	工事区域をフェンスで囲う			
ヌ その他の措置	なし			
ル 工事着手予定年月日	年 月 日			
ヲ 工事完了予定年月日	許可後150日間			
ワ 工程の概要	○月 擁壁工、△月 盛土工			
11 その他必要な事項	○法○条の許可を取得済み			

係	<p>記入不要</p>
---	-------------

- ⑬ (ロ～ハ共通) この面積および土量は、盛土又は切土をする前後の地盤面の標高の差が 1メートル以下となる箇所を含みません。
- ⑭ (二～へ共通) 設置するもの全てを記入し、平面図の番号と照合させてください。  
高さが変化する場合は、□(最小)～◇(最大)で記入してください。  
入らない場合は「別紙のとおり」と記入し、別紙(任意様式)を添付してください。
- ⑮ 標準処理期間(許可申請等の手引き P45)を考慮して日付を設定してください。  
許可取得後に速やかに現場着手する場合、工事着手予定年月日は空白とし、工事完了予定年月日に「許可後○日間」と記入してください。
- ⑯ 工程表がある場合は「別紙工程表参照」と記入し、工程表(任意様式)を添付してください。
- ⑰ 申請書の下段の注意書きのとおりです。

[注意]

- ※印のある欄は記入しないでください。
- 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 8欄は、該当する盛土タイプに○印を付してください(複数選択可)。
- 9欄は、溪流等(令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。)への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の状況の状況を記入してください。